

第2次府中市公共施設マネジメント推進プラン（案）に対する意見交換会 開催結果

1 開催概要

	開催日時	場所	参加者数
1	平成29年10月29日（日） 午前10時	白糸台文化センター 講堂	3名
2	10月29日（日） 午後2時	西府文化センター 会議室	0名
3	11月 1日（水） 午後7時	中央文化センター 第2講堂	1名
計3か所			延べ4名

2 参加者からの主な質問・意見及び市の説明（意見のみの場合などは市の説明欄は斜線で表記）

※実施順

	場所	参加者からの質問及び意見	市の説明
1	白糸台文化センター	ルミエール府中の会議室はあまり使われていないように見える。隣接している中央文化センターにも会議室はあるため、中央文化センターが老朽化した際は、維持や建替え費等を考慮して、ルミエール府中に統合しても良いのではないか。	中央文化センターは設置当時の市民ニーズを集約させた複合施設であるが、今後、建替えの際に、同規模での整備をするには、費用面も含めて様々な課題がある。しかし、市の窓口機能も有しているため、機能をなくすことにも課題がある。そのため、学校や、ルミエール府中との複合化など、今後、市民の皆さんからの意見もいただきながら、どのように施設や機能を維持できるか検討を進める必要があると考えている。

	場所	参加者からの質問及び意見	市の説明
2	白糸台 文化センター	第2次推進プラン(案)14ページの更新費用試算額、更新時期について、市の財政的なバランスを考慮した上での目標設定と見受けられるが、そもそも、公共施設マネジメント推進プランでは、どれだけ財政負担を減らそうと考えているのか。第1次推進プランで1.3億円減とあるが、市の想定よりも下なのか、上なのか。市としてはどう見ているのか。	現在は1.3億円しか減らせておらず、効果としては薄いと捉えている。試算結果にあるように、将来的には24.3億円を減らさなければいけない。今後、市が持ち合わせなければいけない機能について、考え方を整理したうえで、将来の目標値を、第3次推進プランで設定していきたいと考えている。
3	白糸台 文化センター	この公共施設マネジメントは市の財政のバランスをあわせていくことが最終的な目標であると考えられるが、学校施設については、来年度以降に第3次推進プランでやっていくというスピード感で、達成できるのかどうか、伝わってこない。	
4	白糸台 文化センター	今後やっていくモデル事業3、4を推進力としていくと考えられるが、そのプロセスをどう捉えているか。	推進プランにおける、それぞれの施設の取組は各施設の主管課が担うものであるが、実際には難しい状況である。公共施設マネジメントの仕組みを理解している建築施設課を中心に、モデル事業は、建築施設課が主体となって取り組むことで、全体の推進力としている。
5	白糸台 文化センター	学校は必要なものであり、公共施設マネジメントの対象として、減らすものとしてもらいたくないが、第2次推進プランとは別に考え方が提示されるのか。学校の方から説明があるのか。	学校施設について、まずは市長部局側から幅広く活用するという考えを、モデル事業2の結果として示している。その考えを受けて、教育委員会で、開放や複合化など、子どもだけでなく、地域の人を使う場合も想定した検討がされ、今後、学校施設の在り方が提案されてくるものと考えている。

	場所	参加者からの質問及び意見	市の説明
6	白糸台 文化センター	生涯学習センターの宿泊機能について、まだ方針は出していないみたいだが、来年度、検討協議会などを設置するのか。生涯学習センターの宿泊施設の稼働率が悪いが、今後の転用などについて、これから高齢者が増えていくことなどを踏まえると、高齢者施設への転用も一つの考え方だと思うが、市として、こういった見通しがあるのか。	生涯学習センターの利用状況としては、長期休み期間に合宿等で使われることが多く、それ以外のほとんどの期間は空いている状態である。市としては条例に基づきサービスの提供であり、現状のままでは、なかなか他の利用は難しい。次の機能を考えるよりも、そもそも宿泊機能としてあり続けなければいけないのかという部分について、まずは意見をいただき、市として方向性を定めていきたいと考えている。
7	白糸台 文化センター	中河原の女性センターは人が少なく、使われている印象が薄い。中河原の女性センターについては、近年の少子高齢化などに即した、子育て支援施設、もしくは高齢者の施設に転用するなど、別の利用方法を考えるべきではないか。	利用人数が少ないことは、課題としては主管課の方でも取り上げており、利用率の向上に向けた検討を行っている。
8	白糸台 文化センター	いきいきプラザは下が保育所となっているが、宿泊施設が空いているならば、もう少し施設の活用を検討すべき。	
9	白糸台 文化センター	施設管理の委託によるプラス面とマイナス面を、もっと市民に周知すべき。例えば、ルミエール府中は、管理運営主体が（株）京王設備サービスや（株）図書館流通センターなどになってから、何が変わったのか利用者からするとわからない。生涯学習センターも同じくわからない。市として、サービスの変化をどう認識しているのか。	図書館については、定期的に、市と委託業者において苦情や要望を踏まえたサービスの改善を検討し、対応している。生涯学習センターについては、市が行っていた時よりも講座数は増えており、費用も併せてかかってしまう部分もあるが、中身としては充実しており、参加率も増えている。

	場所	参加者からの質問及び意見	市の説明
10	白糸台文化センター	地区図書館については、今のまま、直営で続けるのが望ましい。	
11	白糸台文化センター	建築施設課としてはこの計画を立てるのが前提で、各施設の運用に関しては、施設所管課がやるといった構造になっているが、この具体的にまとめられた課題の進捗の確認については、誰が責任をもってやるのか。	進捗については建築施設課が、年に2回、上半期下半期に分け、進行管理シートでもってまとめて、調整している。
12	白糸台文化センター	例えば、市民会館の料理講習室の稼働率が、1年後、変わらず50%であった時、建築施設課ではどういったアドバイスをする形になるのか。	建築施設課では事務的側面や、技術的側面の両面を担えるという強みを活かし、様々なことを発信していきたいと考えている。モデル事業1では、機能のあり方について議論をしており、そういった手法のノウハウはある。建物全体の活用ではなく、そのなかでの機能がどう使われるかを分析したなかで、課題解決に向けて、進めていきたいと考えている。
13	白糸台文化センター	府中市には文化センターが多い。自分が利用している文化センターは無くなったら困るという市民も多く、無くすとなれば、自治会等が反発すると考えられる。しかし、今後、高齢化が進み、また、市民の数が減り始めた時に、コンパクトシティが求められていくため、手法としては、今のやり方でよいと思われる。	
14	白糸台文化センター	建物の維持管理をしていく上で、建物をどうするかといった時に、市は文化センターを福祉の拠点としているため、転用や処分などができないかのように見受けられる。機能の中身の問題というのは、どこかと一緒になって、市民に分かるように提案しないと、こちらは建物の維持管理をするだけで、文化センターはなかなか指定管理ができませんとなった話もあるみたいなので、そこが納得できない人が多いのではと思われる。市としてはどう思っているのか。	文化センターは福祉の場であるが、場合によっては、災害時における避難場所の機能も担うため、単純に0か100かでは片づけられない。また、文化センターは様々な市の機能を担った施設であり、公共施設マネジメントの中でただ維持費用の負担が課題ということだけで、解決できない場所と考えている。学校の建替えの際には、文化センターの機能の一部その機能は学校に任せる、といった話も考えられる。

	場所	参加者からの質問及び意見	市の説明
15	白糸台文化センター	なぜ文化センターを先にやらないのか、これが第2次推進プラン（案）であるならば、学校を建替えの際に、文化センターの機能の一部を学校に任せるといった考えを、モデル事業5として入れても良いのではと思う。	現在、教育委員会において、学校施設の改築時に向けた考え方の整理を進めており、その考え方を踏まえて、文化センター機能の複合化などについて、検討できるものと考えている。公共施設マネジメントを進める中で、市では目標値を定めていないが、どんな進め方がベストなのか、その時点ごとに情報を出し、それに併せて、市の考え方も発信していくといったことを重ねていかないと、将来に公共施設を引き継いでいくという目標に繋がらない。文化センターも取り組まなければいけないため、議論ができる環境を整備し、しっかり考えていく必要がある。
16	白糸台文化センター	文化センターはもうかなり築年数が経過しており、学校施設とまとめて、徐々にできるところからと考えるにしても、年数は過ぎていく。そのため、改修などをする必要があるが、どれくらいのリミットでやっていくのかといったところも、検討する必要がある。	
17	白糸台文化センター	特に文化センターは白書で収入と支出のバランスを見た時、大きく差があり、このままでは赤字が広がっていくように見受けられた。もっと早くに手を付けるべきところがあるのではないか。	
18	中央文化センター	現在、市では公共施設の約半数が学校教育施設であるが、その学校で一番問題になっているのが雨漏れであり、それが何年も手当てが出来ない状態が続いている。雨漏れしていること自体、建物として良いとは言えず、雨風がきちんと凌げない建物で、子どもが勉強するという状況が、適切なのか。	やるべきことはたくさんある中で、まずは施設管理の意識改革が必要と考えている。また、職員の技術力の向上も必要である。学校については、今年の4月から事務職と技術職含めた編成の、学校施設課ができており、事務と技術の両面から、そうした問題への対応をし始めている。

	場所	参加者からの質問及び意見	市の説明
19	中央文化センター	<p>工事等の履歴管理システムについて。民間では、竣工の際に修繕計画もきちんと立てている。管理を疎かにすると、建物の老朽化等によって、改修や建替えの費用が大きくなる。一市民の目から考えると、なぜもっと管理をしないのか、と疑問が生じる。市側でできないのであれば、市内業者を利用するなどの対応が必要なのではないか。公共施設マネジメントとして、表面上のものだけになっている印象がある。多くの施設をこれからも維持していくなかで、今のままで良いのか。</p>	<p>全国的に、自治体は施設を財産として所有しているという意識が不足しているのが現状である。だからこそ、意識を変えていこうとする、公共施設マネジメントが必要とされる。行政が市民サービスを提供し続けていくためには、その財産をしっかりと管理しなければならないため、どれだけ行政側が意識改革をするかが大事なところである。</p>